

2009 年ラツパを吹き鳴らす祭り 第二部 2009 年 9 月 20 日 アシェル・イントレーター

ここイスラエルのメシアの御体において、なにか良いこと、健全なことが起こっています。今日のラツパを吹き鳴らす祭りにおいて、20 を越える Congrigo ーションから指導者およびメンバーが集まり、ヤッド・ハシュモナ・キブツの屋外で、このお祭りを一緒にお祝いしました。(特にこのお祭りを運営してくれたアヴィ・ミツウラヒ兄弟を特に感謝します。)

私たちは皆一緒に礼拝しました。その後牧師たちが前に出て共にひざまずき、悔い改めを導きました。牧師たちが互いに譲り合い、へりくだり合ったことは感動を覚えるものでした。考えてもみて下さい。イスラエルの主の御体の指導部が悔い改め、一致し、そして聖書のお祭りを祝っているのです。そしてすべてをヘブライ語で行いました。私たちが「主よ恵みを雨のように注ぎ給え」という賛美を捧げた時、天が開けて小雨が降り注ぎました。

主の晩餐を共に頂きました。そして私たちは「イスラエルはみな救われる(ローマ 11:26)」と祈りをもって執り成しました。この主の御体が、サウル(使徒パウロ)が持っていた同じ重荷、執り成しの油注ぎを受け取るよう、そして私たちの民の救いのために自分の命を捧げることができるよう(ローマ 9:1-3)、私は祈りました。

終盤近く、聖書の中でラツパを吹き鳴らす意味について私は語りました。それは、ある特定の人物を王と宣言することです。それは、「ハムラハア」という行為です。ヘブライ語の意味は「ある人物を王とする」です。それに対して私たちは「主の御名、イエシュア、イスラエルの王として来られる方に祝福あれ」(マタイ 23:39)と7回叫びました。そして全員で角笛を吹き鳴らし、喜びの音を主に向かって立てました。

私たちは今霊的な転換点にいると私は信じており、ここ数年の内に次の傾向が見られるでしょう。

1. イスラエルの主の御体が徐々に世界のキリストの体の指導部門を担っていく。
2. その立場において、世界中のキリストの体に一致をもたらす神のお働きにイスラエル人メシアニック・レムナントはその一翼を担う。
3. 国家としてのイスラエルは実際強くなりつつある。
 - a. **経済**: 西洋の金融機関が破綻したのは信頼性の低い融資に資金を投下したためです。イスラエルの銀行は、戦争などによる資金繰りの困難さもあって、常に融資に対してかなり慎重です。それゆえ、この国の経済は世界の国々と同様大きな打撃を受けましたが、すでに回復しつつあります。
 - b. **政府**: ここ数年間イスラエル政府高官に対する相次ぐ告発を見てきました。他の諸国で起こっていることに比べるとその犯罪行為は比較的軽いものでありましたが、

汚職に対して新しい基準が設けられました。ネタニヤフ首相は今までのところ良い仕事をしていますし、彼の政権は安定しています。

- c. **軍事:** イスラエル人宇宙飛行士で 2003 年のスペースシャトル「コロムビア」の事故で亡くなったイラン・ラモンの息子アサフ・ラモンは、今週 F-16 戦闘機の墜落によって亡くなりました。イスラエルの市民たちはショックを受け、悼みました。しかし、私たちの民が通ってきたすべての困難ゆえに、将来における軍事的脅威に対応する用意ができています。世界の他の国々はジハードの脅威を回避あるいは無視するのに一生懸命になっているため、彼らは簡単にその餌食になることでしょう。
4. **イスラムのジハード:** イスラム教のテロリズムに対して国際的な共同体の対応は甘く、それゆえジハード運動は強化されています。先週ネタニヤフ氏はロシアに秘密裏に訪問し、イランに S-300 ミサイルを売却するという提案に対して非難しました。イスラエルの革新的な報道機関はネタニヤフ氏の「秘密裏な」活動をスキャンダル化しようとしたましたが、彼の行為は明らかに自国と国際的な安全保障を行うものでした。イランの狂信的なアヤトラ政権が核兵器と弾道ミサイルで武装しているところを想像してみてください。
5. **国際的な反イスラエル運動:** 西洋諸国はイスラム教のジハードと戦おうとしないだけでなく、それをなだめようと全力を尽くしています。今週国連人権委員会はガザに対する戦争犯罪においてイスラエルを非難するゴールドストーン・レポートを発行しました。このような糾弾は偽善的であり偏見に満ちています。イスラエルはその調査に協力することを拒否しました。それは、委員会が調査を始めるはるか前から、戦争犯罪でイスラエルを非難することを目的の一つとしていると語ったからです。2005 年イスラエルはガザに住む 9000 人の市民を、彼らの家から立ち退かせました。ガザからイスラエル人は一人残らずいなくなりました。しかし、それから何千発というロケットがガザからイスラエルへ打ち込まれ、特に最も人の集まる場所を狙ってきます。イスラエルは報復のため攻撃するしか選択肢がありませんでした。イスラエル軍は軍事的標的だけを狙うよう指示しました。テロリストの戦略は一般市民の家からロケットを放ち、市民たちを人間の盾として使い、何百という無実のガザの人々を死に追いやったのです。

ラツパを吹き鳴らす祭りの角笛あるいはラツパは、終わりの時の預言を指し示す預言的なシンボルです。イスラエルや教会、そして諸国で見られる傾向は、すべて二、三千年前聖書で語られた通りです。今こそイエシュアに従う真の信者たちは皆、終わりの時の預言に対して目を覚まさなければなりません。それらは私たちの目の前で起こり始めているからです。「イスラエル、教会そして終わりの時」に関する教えは、来るべき年に向けてすべての主の御体にとって必要な問題となっています。